

第26回 DAAS運営委員会

□日 時：2014年1月24日（金） 14:00～15:30(予定)

□場 所：ソーシャルインキュベーションオフィスSUMIDA セミナー室

〒100-0014 東京都墨田区本所 3-15-5 1階

Tel: 050-3786-0568

□議 案：

[承認事項]

「DAAS運営基盤の安定化検討WG（仮称）」の設置について(案) <資料 1>

事務所移転について <資料 2>

[報告事項]

動画コンテンツ制作について <資料 3>

□資 料

資料1 - 「DAAS運営基盤の安定化検討WG（仮称）」の設置について(案)

別紙1 - 「DAAS運営基盤の安定化検討WG（仮称）構成(案)

資料2 - 事務所（千代田区平河町花菱ビル）移転について

資料3 - 補助金事業でのコンテンツ制作について

「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG（仮称）」の設置について(案)

1 背景等

〔経緯〕 建築空間デジタルアーカイブス コンソーシアム(以下「DAAS」)は、DAAS 設立趣意書に賛同していただいた法人・個人会員の皆様(以下、「会員」という)の支援を受けて運営しており、平成 18 年の設立より平成 25 年 10 月で設立 7 年目となった。会員会費収入を活動費として、平成 17 年度国家予算で構築したデジタルアーカイブスプラットフォーム「DAAS (WEB サイトとデータベース)」の維持・運営、「コンテンツ拡充」等、デジタルアーカイブスとしての基本活動を粘り強く継続してきた結果、着実にその成果を上げてきた。

〔経営環境の変化〕 この間、会員企業・団体の組織的支援(総務機能)、国の補助事業による支援があったものの、会員数減少による会費収入減少、組織的支援の終了、活用可能な補助金予算の縮小・消失など、DAAS 経営環境が大きく変化してきた。これに対応するため、DAAS として様々な経費削減策(事務局移転、サーバ維持経費削減など)を講じてきており、その結果、DAAS の運営、総務的機能、諸活動の全てを常勤事務局 1 名のみでまかなっているという大変厳しい状況にある。

〔法人化問題〕 アーカイブス活動では、「著作権等との権利関係処理(著作者との利用等許諾契約等)」を適切に行うことが肝要である。また、コンテンツのデジタル化、WEB 開発・システム維持等に関しても、第三者との契約が多く発生する。これら契約行為では「DAAS が法人格を持たないこと」がネックとなる場合が多く、これまでも契約締結のために様々な苦勞を伴ってきた。これに対する今後の抜本的解決方法は「法人格を持つこと」であるが、法人格を得るには「法人として責任を負うための組織基盤の健全化・安定化」が必須である。

〔検討課題〕 前述した〔経営環境の変化〕のとおり、現状の組織形態・経営状況のままに DAAS の法人化検討を行うのは非現実的といえる。これからも継続的にデジタルアーカイブス活動を継続してゆくために、今後 DAAS では「活動基盤の健全化・安定化」を最優先課題とし、かつ、「法人格を得ること」を視野に入れた検討が必要と認識しているが、その検討には事務局のほか、会員を中心とし、DAAS に関係する方々からの支援が不可欠となる。

〔WG の位置づけ・目的〕 標題 WG の設置・検討は、DAAS 第 8 期(2013-2014 年)事業計画に基づくものであり、「運営基盤の安定化」をテーマとし、法人格取得も視野に入れて、その対応策に関して集中討議を行うためのものである。

2 実施方法(案)

DAAS 運営委員会のもとに、笠運営委員(金沢工業大学教授)を主査とする「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG(仮称)(以下、「WG」という)」を設置し、検討する(別紙 1:WG 構成案)。

WG 検討結果は、定期的に開催される運営委員会へ報告し、運営委員会の意見を WG 検討へ適宜反映させるとともに、最終成果は運営委員会の承認を得て、取りまとめる。

なお、WG 検討に際し必要な集中的調査・作業が発生する場合、検討の合理性を考慮し、必要に応じ外部委託をすることも可能とする。ただしこの場合、発注前に運営委員会の承認を得るものとする。

(1) 検討事項(案)

1. DAAS の現状把握

- ① 設立から現在までの収支状況概要
- ② DAAS の基礎的活動に要する経費の精査と明確化
- ③ 対外的に説明可能な DAAS メリットの明確化 等

2. 法人格種類と特徴等について

- ① 各種法人格 (NPO 法人、一般社団法人等) の特徴等に関する整理
- ② DAAS が目指すべき法人格の検討

3. 統合・連携等の可能性がある他機関情報

- ① 今までに意見交換を実施してきた各機関 (リストアップ)
- ② 各機関の情報・特徴

4. DAAS 組織モデルの検討

- ① 検討可能な組織モデルの種類とその理由

5. DAAS の運営基盤安定化策まとめ

(4. の検討から、関係機関等との具体的統合・連携へ向けた必要タスク、想定課題等をまとめる = 最終成果イメージ)

(2) 検討成果

- ・検討成果をとりまとめた概要版 および 報告書一式

3 日程および工程表

- ・日程: WG 設置より平成 26 年 9 月 31 日まで
- ・工程表: 下表のとおり (WG 開催回数は 5~6 回程度を予定)

表 工程表

調査検討項目	2013-2014 年度			
	1~3 月	4~6 月	7~9 月	
1. DAAS 運営現状の把握と検証 ① 収支状況の整理 ② 基礎的活動コストの精査 ③ DAAS メリットの明確化	■ ■ ■	■		
2. 法人格に係る調査 ① 各種法人格の特徴整理 ② DAAS が目指すべき法人格	■ ■			
3. 統合・連携等の可能性がある他機関情報の整理 ① 各機関リストアップ ② 各機関の情報・特徴	■ ■	■		
4. DAAS 経営・組織モデルの検討 ① 検討対象組織モデル種類と理由		■	■	
5. DAAS の運営基盤安定化策まとめ			■	
WG 開催	○ ○	○ ○	○ ○	○ (followup)
運営委員会開催	● ●	●	●	

DAAS 運営基盤の安定化検討 WG（仮称）構成(案)

(順不同、敬称略)

主査	竺 覚暁	一般社団法人日本建築学会 (金沢工業大学教授・同大学ライブラリーセンター館長・ 建築アーカイヴス研究所長)
幹事	三塩 達也	株式会社日本設計執行役員 第2 建築設計群長
〃	林 隆之	一般財団法人日本建築センター認証部認証課担当課長
委員	鯨坂 徹	公益社団法人日本建築家協会 (鹿児島大学大学院理工学研究科建築学専攻教授)
〃	鈴木 長則	公益社団法人建築士会連合会 (岡建工事株式会社)
〃	今倉 章好	一般社団法人日本建設業連合会
〃	中田 千彦	公立大学法人宮城大学事業構想学部准教授
協力委員	武井 佐代里	国土交通省住宅局建築指導課企画専門官
〃	高見 真二	内閣官房地域活性化統合事務局 企画官
〃	山名 善之	東京理科大学工学部建築学科准教授
事務局	山崎 幹泰	金沢工業大学 環境・建築学部建築系准教授
	武藤 奈津子	建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム

事務所（千代田区平河町花菱ビル）移転について

DAAS 事務局は、現在、千代田区事務所(平河町花菱ビル)及び、墨田区事務所(本所の東京都中小企業振興公社が運営するインキュベーションオフィス)の2か所に設置しておりますが、このうち千代田区事務所のビル所有者と運営会社間のトラブルにより、2014年3月31日をもって平河町花菱ビルを閉鎖する旨の通知がありました(2013年11月)。

このため、代替場所について急ぎ対応が必要となり、事務局会議及び打合せ等を重ねた結果、千代田区事務所を以下施設へ変更したいと考えております。

なお、費用面では平河町花菱ビルとの差異が少なく、会議室等付帯施設の利用条件が改善すること等を考慮の上、事前に三塩委員長の了解のもと、以下施設の利用申込手続きを先行して進めておりますこと、ご了承ください。

[施設名称]ちよだプラットフォームスクウェア

[施設所在地]〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-21

[運営会社]プラットフォームサービス株式会社

[設立背景と施設内容]千代田区が公の施設である「千代田区中小企業センター」を廃止後、当該建物を行政財産から普通財産に変更し財団法人まちみらい千代田に無償貸与。民間事業者と10年間の定期建物賃貸借契約を締結。ビルの管理運営からインキュベーション施設のテナント集めや SOHO の育成支援までを一括して委ねる。平成16年4月1日大規模リニューアル工事の後同年10月1日ちよだプラットフォームスクウェア(神田錦町3-21、以下「CPS」)がオープン。2階と3階がインキュベーション施設で、デスクの指定がないフリーアドレスのオープンレストと、占有区画のクローズドレストからなる。貸し会議室等を完備。

[契約方法]「クローズドレスト」(個室)については、原則として「オープンレスト」利用者に限り申込資格があり、入居後に「クローズドレスト移動希望申込書」を提出、空室まちとなる。

[提案理由]墨田区と同様にインキュベーションオフィスとして利用されており、会議室等もあり、委員会、会議等の開催ができること、また、安価にて(平河町と同等程度)住所の登録が可能であることなど。

[費用比較]

平河町オフィス	ちよだプラットフォームスクウェア
入会金(初回契約時): 52,500円	初期登録料: 10,500円
ビジネスサポートクラブ年会費: 21,000円	保証金: 30,000円
バーチャルオフィス利用料/月額: 9,660円	施設利用料/月額: 15,750円
会議室利用料(30分ごと/6人収容1室): 500円	会議室利用(1時間ごと/12~66人収容 全15室): 900~7,800円
郵便物等の転送は実費にて、デスク、インターネット利用は不可	ポスト、デスク、インターネット等の利用が可能

※:墨田区事務所は、「ちよだプラットフォームスクウェア」のクローズドレスト(個室)が確保できた段階で、DAAS 所有機材等の設置・保管場所確保を含めた再検討を予定

補助金事業でのコンテンツ制作について

今回、補助金事業での動画コンテンツ制作を予定しておりましたが、委員会で報告した宮本先生、写真家村井両先生の了解が頂けず、また坂倉準三展に関する北村氏のインタビュー案もありましたが、既に収録済との事で断念いたしました。方針を大きく変更し、以下の案にて関係各所との調整を進めています。

[企画変更内容]近年様々な動きがある「アーカイブ活動」の現状を横断的に収録。活動に携わる方々の生の声、各活動のミッション、アーカイブへの思いを収録し、まとめる。

「アーカイブの活動とは何か(設立経緯)」「今、何が行われているか(現状)」「どこにむかっているか、目的としているか(ミッション、今後の活動)」「何故、アーカイブなのか(思い)」等

[目的]動画収録をしたものを Web で公開する事で、各活動の情報を共有し、様々なアーカイブス活動への理解とその必要性に対する認識の向上や、将来、個々のアーカイブスの連携・共有など、アーカイブス活動全体の活性化を目的とする。

[収録する人物候補及び団体]

- ・ 藤岡洋保氏(日本建築学会 建築博物館について)了解済 日程調整中
- ・ 松葉一清氏(武蔵野美術大学での芦原アーカイブの資料保存が決定)打診中
- ・ 鈴木博之氏(近現代建築資料館について、その他アーカイブの現状について)打診中
- ・ 北郷悟氏(東京芸術大学 総合芸術アーカイブセンター)

その他、金沢工業大学のアーカイブ活動及び、JIA-KIT 建築アーカイブスについては別途金沢工業大学御協力のもと動画制作を行う予定です。